

平成 28 年度子ども・子育て支援事業計画新規・追加事業

○養育支援訪問事業

・子どもを守る地域ネットワーク機能強化（追加）

《事業内容》

要保護児童対策地域協議会（以下「地域ネットワーク」という。）の調整機関職員や地域ネットワークを構成する関係機関等の専門性強化及び地域ネットワーク構成員の連携強化を図るとともに、地域ネットワークと訪問事業が連携を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応を目的とします。

《現況と課題》

社会環境からみられる核家族化の進むなか、家族・近隣から子育てについてのアドバイスや一緒にかかわり対応してもらえることが少なくなり、ひとりで抱えることで不安や負担・孤独さを感じている親が多くなり、近年悲惨な虐待事件が報道され、深刻な社会問題となっています。

このような事態に対応するため、座間市では「要保護児童対策地域協議会」（以下「地域ネットワーク」）を設置し、児童相談所、警察、学校などの関係機関と連携して児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を行います。

《確保方策》

研修等に積極的に参加し地域ネットワーク関係職員の専門性強化及び地域ネットワーク構成員の連携強化を図ります。

○利用者支援事業（新規）

《事業内容》

利用者支援事業（保育コンシェルジュ）は、子育て家庭や妊産婦の困りごと等に合わせて、幼稚園・保育所などの施設や、地域の子育て支援事業などから必要な支援を選択して利用できるように、情報の提供や支援の紹介などを行います。

《現況と課題》

子育て世帯や妊娠している方が、保育所及びその他の子育て支援制度等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行う必要がある。

《確保方策》

保育所及びその他の子育て支援制度等を円滑に利用できるよう、また必要に応じて相談・助言等を行うため、園長を経験したことのある公立保育士〇Ｂを保育コンシェルジュとして座間市子ども未来部保育課に配属する。

《量の見込み》

箇所

| | 平成 2 7 年 | 平成 2 8 年 | 平成 2 9 年 | 平成 3 0 年 | 平成 3 1 年 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 量の見込み | — | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 確保方策 | — | 1 | 1 | 1 | 1 |

○実費徴収に係る補足給付を行う事業（新規）

《事業内容》

低所得で生計が困難である者の子どもが、特定教育・保育等の提供を受けた場合において日用品、文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等の一部を補助することにより、これらの者の円滑な特定教育・保育等の利用が図られ、すべての子どもの健やかな成長を支援することを目的とします。

《現況と課題》

低所得で生計が困難である者の子どもが、保育所等を利用した場合において、保育所等に通園する中で、保護者が支払うべき日用品、文房具等の購入に要する費用等（実費徴収額）を補助することで、円滑な保育所等の利用を図り、もって子どものすこやかな成長を支援する必要がある。

《確保方策》

上記実費徴収額に対して、市が一部補助する。